

保護者の願い

本日は、国会議員の先生方には、お忙しい中ご臨席を賜り、本当にありがとうございます。日頃の私学教育の振興発展へのお力添えに対して改めて感謝申し上げます。

現在、わが国は、グローバル化や少子高齢化に向かって様々な改革が進められていますが、そのような中であっても、私たち保護者が願うのは、子供たちが立派に成長し、社会のそれぞれの分野で役割を担ってくれることです。子供たちを育てるのは、先ずは私たち保護者の責任ではありますが、それぞれの能力や希望に応じて、自ら選択した学校でより良い教育が受けられるよう学習環境を整備するのは、学校と保護者と国の責任だと考えています。保護者としては、子供たちが安全・安心で充実した学校生活が送れるよう、国による経常費助成の充実とともに、私立学校の耐震化・備蓄等防災対策についても、国公立学校と区別なく早急な対応をお願いしたいです。

また、「高等学校就学支援金」は、加算の拡充及び奨学金事業への支援などの制度の見直しにより、私立高等学校に学ぶ生徒の授業料負担は軽減されましたが、それでもなお、公立高校生と比較すると格差は大きく、さらに、私立高等学校間でも各都道府県間での様々な上乘せ支援によって、新たな格差を生じている現状もあります。

私たち保護者は、私学の建学の精神に基づく特色ある教育方針に賛同し、様々な選択肢の中から子どもたちに良かれと考え、私学に学ばせています。

決して経済的にゆとりがある家庭ばかりではありません。家庭の経済状況により子どもたちの自由な学校選択が妨げられることなく、より良い教育を受けられるには、学校に対する私学助成をはじめとして、これまで以上の支援措置が、必要不可欠なことと考えています。

つきましては、私立学校保護者の学費負担のさらなる軽減と子どもたちの教育環境の一層の改善のため、関連の政府予算がさらに充実されるよう、ご臨席の国会議員の先生方のご指導とお力添えを切望いたします。

平成27年12月1日

私学振興全国大会